

座談会

今回ののはちゅ～すは、
蓮ダム職員の係長4名による
座談会の様子をご紹介します。
蓮ダムの防災操作の話から、
今年の4月に取り組みが始まった「ダム印」まで、
話題は多岐に渡りました。

テーマ1 防災操作

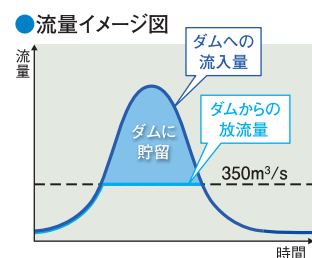
安井 今日は4月より着任された皆さんと、蓮ダムについていろいろお話できればと思います。早速ですが、4月以降の蓮ダムの管理や業務はどのようなものでしたか？

中村 近年、異常豪雨が増大し、全国各地のダムで緊急放流が実施される状況となっています。今年度に入り、蓮ダムでは4月早々に突発的な降雨があり、8月の終わりから9月にかけて台風第10号の接近により大雨に見舞われました。台風期は、もうしばらくの間続きますので、引き続き、注意が必要だと思っています。

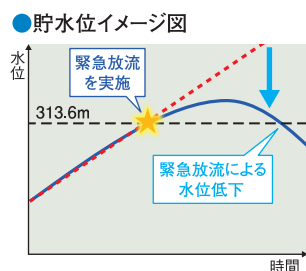
穴井 国土交通省の「川の防災情報」というウェブサイトがあり、蓮ダムの貯水位や、ダムへ入ってくる水の流量などをリアルタイムで公開しています。それと、湖面や下流の監視カメラの映像も。これらの情報を正しく提供できるように、日頃から測定機器のメンテナンスも行っています。

岡本 これから先も台風など、大雨災害の可能性も高まりますが、どんな管理になるんですか？

中村 蓮ダムでは6月16日～10月31日が洪水期となっています。この期間は前もって、ダムの貯水位を下げて治水容量を確保しておき、洪水の水をダム貯水池に貯めるために備えています。ダム湖に流入する水の量が毎秒350m³までであれば、そのまま下流へ流します。さらに雨が降り続き、ダムに入ってくる水の量が毎秒350m³を超えると、同じ量を放流するのをやめ、毎秒350m³に維持し、超えた分をダムに貯めます。これを洪水調節といいま



穴井 近年、全国において緊急放流を行うダムが増えています。異常な豪雨により、計画を超えるような洪水が来た場合は、ダムに貯める容量に限界があるため、下流に流す水量を徐々に増加させ、ダムに入ってくる水量と同じ量を下流へ流すよう(自然河川状態)にします。これらの放流を実施する場合は、警報局に設置されているサイレンやスピーカーを使用して、住民の皆さまへ事前に周知しています。



テーマ2 事前放流・水力発電

安井 近年、ダムの管理で新たな取り組みが始まっていますね。

中村 まず1つは事前放流です。異常な豪雨に備え、利水容量(上水、発電等)を事前に放流、水位を低下させておくこと。蓮発電所で、緊急放流などを回避するものです。もう1つが水力発電による増電の取り組みです。

穴井 ダムの高低差を利用しているんですね。ダムから取り込んだ水が、ダム堤体内の導水管を通して上から下へ落ち、発電所へ送られ、この水の勢いが発電機の水車を回して発電がおこなわれるんですね。

中村 そうそう。それで発電量を増やす試みというのは、ダムによる防災操作後にまとまった降雨予測が見られない場合、発電放流設備をフル活用してゆっくり水位低下を行うことで電力エネルギーを有効活用するものです。

岡本 事前放流、水力発電のいずれも、ダムに貯められた水を柔軟かつ賢く使うという発想ですね。

中村 そうです。こうした新たな取り組みには、最新の長期気象予測技術を最大限活用することで、空振りを極力回避し、ダムの防災操作に支障がないようにしていく必要がありますが、そこが一番、管理をしていく上で難しいところです。

岡本 なるほど!ダムの治水機能と水力発電を両立させて、カーボンニュートラルに貢献する試みなんですね。そんな治水ダムの機能にもっと関心を寄せていただけるように、中部地方整備局で新たな取り組みが進められています。(次のページへ)



テーマ3 ダム印



岡本 この4月から、中部管内にある14ヶ所のダム等において「ダム印」の取り組みが始まりましたね。周りからの反響はどうか？

安井 蓮ダムでは、4月から8月までの5ヶ月間で約1,000人の方が、ダム印を求めて、ダム管理所まで来られました。遠くは九州からお越しになり、皆さんの評判も上々ですよ。

穴井 ダム印と台紙は、蓮ダム管理所2階の執務室入口に備え付けてあります。お1人様1枚、台紙にダム印を押したあと日付を記入していただき、お持ち帰りいただいています。簡単なアンケートもお願いしています。



岡本 中部管内のダム等を巡り、ダム印を集めるとオリジナルグッズがもらえます※。たとえば、蓮ダムのダム印ともうひとつ、長島、小里川、矢作、設楽ダムのいずれか1つのダム印で「ダム印ステッカー」が、横山ダムを含めた木曽川流域8施設のダム印で「ダム印ステッカーシート」が入手できます。また、管内のダム印14枚以上を集めると「ダム印てぬぐい」「ダム印クリアファイル」がもらえるんです。

※2024年7月20日(土)～オリジナルグッズがなくなり次第終了

ダム印について詳しくはこちら→
<https://chubu-damuin.jp>



イベント開催報告

自然体験交流会 [令和6年7月27日⓪]

地元の小学生を対象とした、水源地域の自然に触れて、楽しく学べるイベントです。今年は炭づくりを学んだり、川の水生生物を調べたり、ダム見学ではVR体験も。真剣に講師の話聞く表情や、にぎやかな歓声に包まれ、楽しい1日となりました。



川の生物調査



炭焼き

1日ダム探検 ～もりみず旬間 in 蓮 2024～ [令和6年7月28日⓪]

国土交通省および林野庁が定める「森と湖に親しむ旬間(7/21～31)」にちなみ、蓮ダムでは1日ダム探検を開催。定員70名にご応募・ご参加いただき、ダム操作室やダム堤体内の見学、ダム湖の巡視体験をご案内しました。



主放流設備の見学



巡視体験

テーマ4 観光・イベント等

安井 4月は、津本公園の桜が見ごろになりました。ダム湖のほとりに何十本もの桜が植えられていて、圧巻なんです。水面と、山に囲まれた桜のコラボレーションが楽しめます。

穴井 蓮ダムウェブサイトのトップページでは毎年、桜情報として期間限定で、ライブカメラの映像を掲載します。また公式X(旧Twitter)でも桜の写真を投稿しましたね。

中村 津本公園は開放されているんですか？

安井 はい、たくさんの方が、お花見を楽しんでいましたよ。



岡本 5月には、木場公園のナンジャモンジャの木も満開でした。正式名称は「ヒトツバタゴ」ですね。木場公園は蓮ダムの直下にあり、蓮ダム主催の「自然体験交流会」の会場としても利用します。

穴井 近年はコロナ禍で開催できなかった自然体験交流会も、今年は久しぶりに行われましたね。参加いただいた小学生の皆さん、本当にありがとうございました!

安井 お時間になりましたので、座談会はこれで終了です。皆さんありがとうございました!



1日ダム管理所長体験 [令和6年8月21日⓪]

全日本中学生水の作文コンクールで国土交通大臣賞を受賞した松阪市の渡辺心晴さんが、蓮ダム管理所の1日ダム管理所長に就任しました。巡視船に乗り、水面の様子を確認しながらダム湖の水質調査を体験。また、気温12℃のダム堤体内では、大雨の時に動かす巨大な放流ゲートを見学しました。管理所内の操作室では、ゲート開閉の模擬体験も行いました。



着任式



模擬操作



湖面巡視